

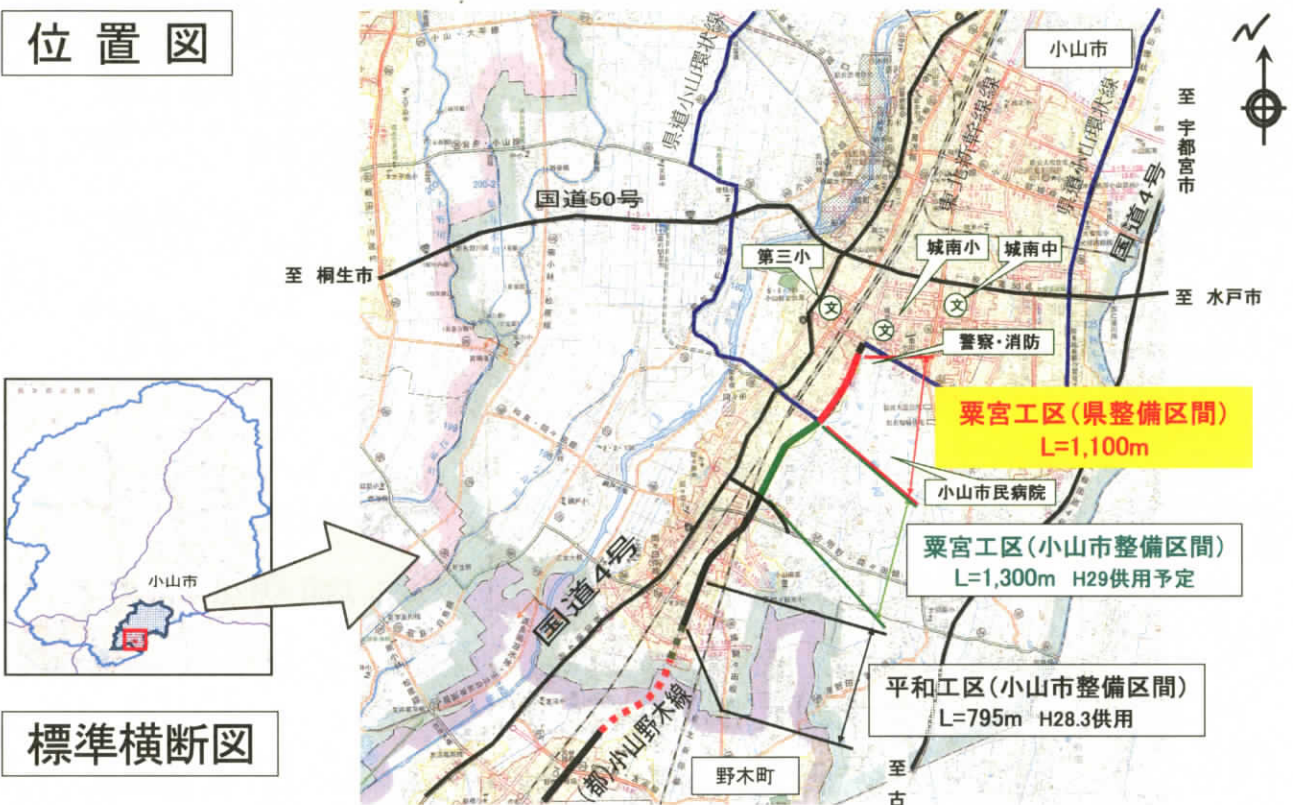
道路事業の再評価概要書

() は、事前評価時

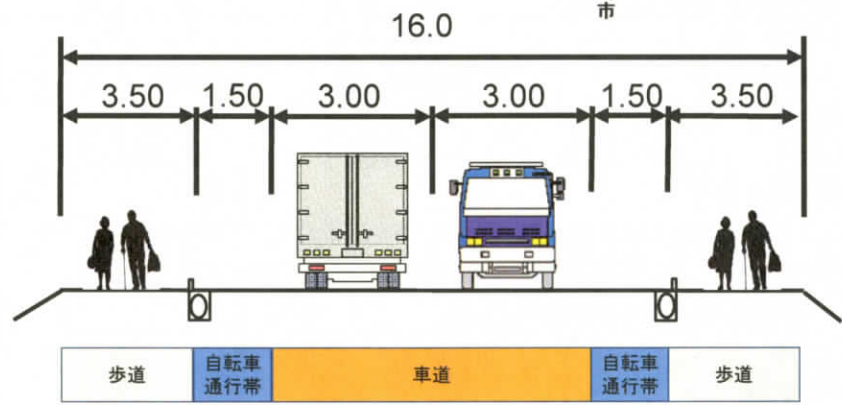
番号		3	
事業主体		栃木県	
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 <small>おやま</small> 小山環状線	事業箇所名	<small>おやま</small> 小山市 <small>あわのみや</small> 粟宮工区
事業区間	<small>おやま</small> 小山市 <small>あわのみや</small> 粟宮～ <small>おやま</small> 小山市 <small>ひとしのや</small> 神鳥谷	事業延長	1,100m
H24年度事業化	H24年度都市計画決定	H25年度用地着手	H27年度工事着手
事業期間	(H28) H24年度～H33年度	事業 進捗 状況	基準年次：【平成28年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[10.0 (9.5) 億円]		[うち用地補償費] [4.4 億円] [44 %]
全体事業費	16.2 (15.0) 億円		既投資事業費 6.2 億円 38 %
事業概要			
<p>主要地方道小山環状線は、小山市において環状機能を有しており、安全で円滑な交通の確保を図る上で重要な路線である。本地域では周辺開発が進み、本路線と南北に並行する一般国道4号は慢性的に渋滞しており、道路網の整備が緊急の課題となっている。</p> <p>そこで、都市機能の拡充及び小山・野木圏域の交流連携を強化するとともに、国道4号の慢性的な渋滞緩和を図ることを目的とし、本路線の整備を行うものである。</p> <p>また、(都) 小山野木線の一部である市施工平和工区 (L=795m) が平成28年3月に供用となり、さらに隣接の市施工粟宮工区 (L=1300m) についても平成29年度に供用予定である。</p>			
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
<p>平成25年6月に小山市により粟宮新都心構想が策定され、警察・消防・病院の公共施設が粟宮地区に集約されるなど、周辺開発が進んでいる。</p>			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
(1) 事業全体		B/C = 2.4	38.0 億円
(2) 残事業		B/C = 3.9	16.0 億円
2 事業の整備効果等		9.7 億円	
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、小山市、野木町、茨城県古河市を南北に結ぶ広域ネットワークが構築されることで、地域間の交流連携が強化し、さらには沿線産業の支援や地域振興が図られる。 ・国道4号の慢性的な渋滞が緩和される。 			
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
・今年度末時点における事業の進捗率は38%、用地補償の進捗率は44%の予定			
2 今後の事業進捗の見込み			
・平成33年度までに完成供用を図る。			
コスト縮減等			
1 コスト縮減方策			
・再生骨材、再生アスファルト合材の利用や、建設発生土の流用を積極的に活用しコストを縮減			
2 代替案立案等の可能性			
・本事業は一連ルートの中抜け区間を整備するものであり、既に大部分の用地を取得しているため、本計画が最適である。			
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。	

事業箇所 (位置図・概要図)

位置図



標準横断図



概要図

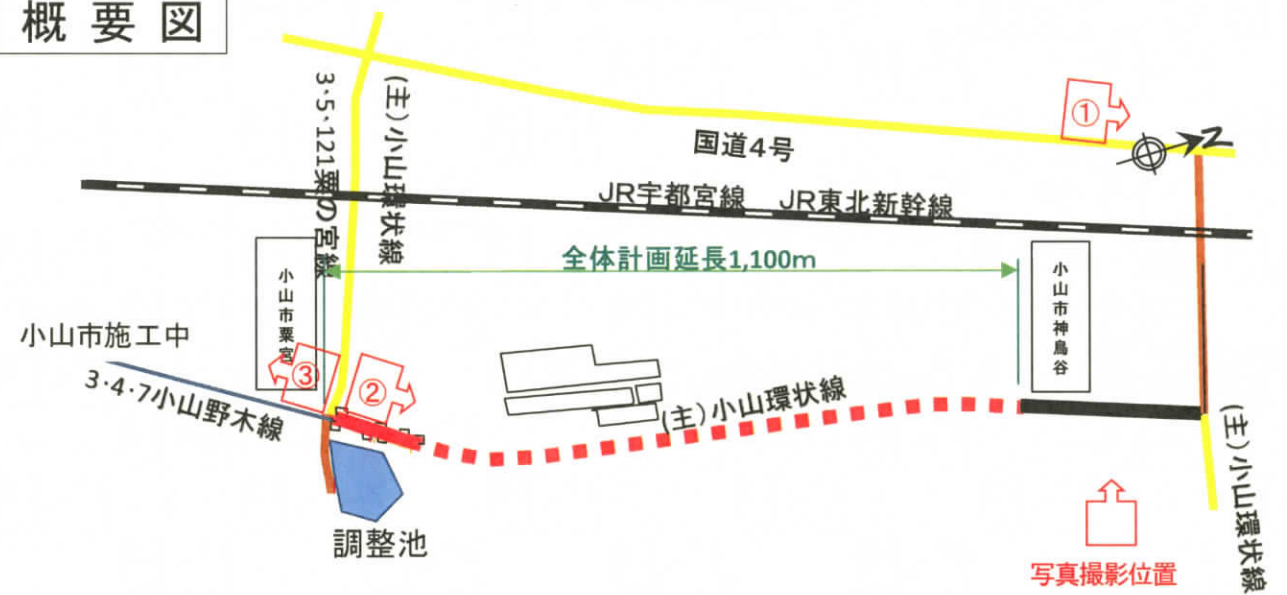




写真 1 : 国道 4 号の渋滞状況



写真 2 : 工区起点側状況



写真 3 : 隣接工区の施工状況 (市粟宮工区)